

# 第24回技術部会資料に対する 委員提出意見

---

【資料2】第4期 国土交通省技術基本計画（H29-R3）のフォローアップ方針について

- 技術開発課題、技術政策ともに、現時点では指標、目標ともに設定されていないとのことですが、自己点検やフォローアップでは、今後のフォローアップの検討のためにも可能な限り根拠を示す形でお願いしたい。

【資料3】新たな国土交通省技術基本計画の策定に向けた検討の視点について

- 社会資本の危機管理課題

インフラ危機管理として、インフラの老朽化、自然災害、国土強靱化の視点は挙げられているが、安全保障や人為的な攻撃の想定についてはどうか。国際的には critical infrastructure としてインフラへの物理的攻撃、運用システムへの攻撃などが安全保障や犯罪の対象として危機管理されている例がみられるが、その点は今後、技術政策上の課題のひとつとなるのではないか。

- 「現行技術基本計画策定時からの大きな変化」を踏まえた視点

デジタル革命、カーボンニュートラル技術の社会実装は、都市や地域の空間面や所得配分・分配をこれまでよりも大きく変えると思われる。たとえば、都市部では通勤や移動を前提とした都市圏が想定されてきたが、変革により消費者側の選択の幅が広くなり、従業地や生産地といった供給者側の情報よりも、消費や電子取引に基づく消費者側の情報の重要性が相対的に大きくなると考えられる（たとえば、消費データに基づくデジタル経済圏による都市圏の再設定の可能性など）。また、スマートシティにおける行動変容、オプトイン・アウトなどの政策設計、情報弱者への対応などには、規模の小さな経済主体（消費者、中小企業）の行動データや社会経済的影響の情報が必要となる。

以上により、技術政策の設計・評価のために必要な情報のあり方の検討が必要ではないか。また技術政策のフォローアップには、政策のアウトプットの進捗のみならず、アウトカム（効果）評価、特に経済的指標の評価（配分・分配とも）を組み込むことが必要と考えられる。今までのフォローアップには無いと思われるため、まずは社会実装・社会実験の項目で、効果指標や評価手法を開発していくことが必要ではないか。

以上